

インターンシップや教育実習、楽しいことも辛いこともあったが、これらの経験は私の大きな宝である。私は周りの人間に成長させてもらった。

卒論をめぐる無駄話

人文学部 行動科学課程
上村 亮

大学生活最後の一年間、卒業論文執筆という大事業に取り組んでみて、何よりも痛感させられたのは、自分自身の無知・無能ぶりでした。そう、卒論は「無」との戦いであ

ではなかった！今や、こんな「無」意味な文章を書くことができるくらい、ほっとした気分です。

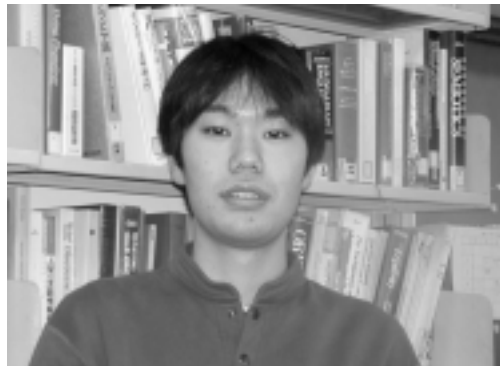
「四年間の出会い」

教育人間科学部 健康スポーツ科学課程
大和 芳

四年前、健康スポーツ科学課程は私達一学期生もそして課程の先生方も手さぐりの中で始まった。インターンシップや教育実習、何もかもが初めての経験であった。楽しいことも辛いこともあったが、その中で培った貴重な経験は、社会の一員となるにあたり私の大きな宝になると思う。中でも私の大学生活での大きな宝は、四年間で得た友である。厳しい部活動を共にがんばってきた仲間、悩みを真剣に聞いてくれた友達、深夜まで無い知恵(?)を絞りだしながらがんばった研究室の仲間、私は周りの人間に成長させてもらった。四年間の出会いのように、これからも周りの人から多くを学び、そして自分自身も周りに影響を与えることのできる人間になりたいと思う。ここで全ての出会いに感謝をしたいと思う。優しくも厳しい指導をしてくださった先生方、多くの友人、そしていつも大きな心

卒論は、「無」との戦いであったような気がする。

卒業、
修了



ったような気がします。参考文献、紙と鉛筆、パソコン、といった「無」機物に向かい、「無」能な頭を使って振り絞るように文を書く。「無」をいくら積み重ねたって「有」が生まれるはずはないのに、締切日には一応それらしいものが誕生しました。奇跡です。この奇跡だけでもありがたいのですが、もう一つありがたかったのは、指導してくれる先生方、一緒にがんばっている仲間存在でした。無機物とのうんざりするような付き合いが、有機体(甚だ失礼な表現ですが)のありがたみを教えてくれました。そう、やはり「無」駄な努力



本人最前列左端

で私を見守ってくれた親友に心からの「ありがとう！」を言いたい。

卒業にあたって

法学部 法政コミュニケーション学科
加藤 知子

私の一年間のドイツ留学を含む五年間の大学生活は、興味のあることを好きなだけできた充実した楽しいものでした。先生方、友達にも恵まれ、様々な面で助けてもらいました。

一年間のドイツ留学も先生方の手助けにより実現しました。語学を学ぶだけでなく異文化の中で生活することで多くを学びとることができました。友人もでき、トラブルもたくさんありましたが、それにより一層たくましくなったと思います。



本人右から2番目

私はゼミではドイツ法、ドイツ研究等ドイツ関連の、やはり自分の興味のある分野を学びました。その中で折に触れドイツの文化を再確認し、日本との比較において新発見することも度々でした。先生方もゼミ生仲間もゼミだけでなくコンパやパーティーでいつも楽しく過ごせました。今卒業にあたり、思うことは私は幸せな大学生活を送れたということです。私をとりまく全ての人に感謝します。宝物のような時間をありがとうございました。

一年間のドイツ留学を含む五年間の大学生活。友人もでき、トラブルもたくさんありましたが、それにより一層たくましくなった。

修了にあたって

大学院経済学研究科 経営学専攻
高山 浩

社会人として大学院に入学して、三年が過ぎようとしている。本来二年である修士課程で、自身の不勉強により三年目を過ごしている。仕事をしながらということで、「仕事をしていて時間がないのだから仕方がない」という甘えを許してしまったらしい。

しかし、この一年は私にとって実に有意義であった。不思議なもので、研究に必要と思われる文献は読めば読むほど増えてくるように感じられ、必要と考えた領域はいつのまにか宇宙のような広がりを見せてくる。実に深く底を見ることはできなかった

が、この一年で研究に対する姿勢を少しは理解できたと感じる。

このような私を、時に厳しく、時に優しくご指導下さった先生方、親しみをもち接して下さった学務係の方をはじめ大学スタッフの方々に心から御礼申し上げたい。また、正門近くのカツ丼屋に友人達と通ったことはよい思い出となった。カツ丼屋の主人と友人達にもお礼を述べたい。そして最後に、土曜も日曜も研究室に通い家庭を顧みない私を、文句ひとつ言わずに笑顔で支えてくれた家族に、この場を借りて「ありがとう」と伝えたい。



本人左端

各学部卒業予定者数・各研究科等修了予定者数

人文学部	241名
教育学部	27名
教育人間科学部	354名
法学部	275名
経済学部	303名
理学部	204名
医学部	105名
歯学部	58名
工学部	540名
農学部	174名
医療技術短期大学部	162名
医療技術短期大学部 専攻科 助産学特別専攻	21名
人文科学研究科	19名
教育学研究科	44名
法学研究科	20名
経済学研究科	22名
医学研究科	40名
歯学研究科	36名
現代社会文化研究科	10名
自然科学研究科 博士前期課程	436名
自然科学研究科 博士後期課程	45名
養護教諭特別別科	44名

研究に必要なと思われる文献は読めば読むほど増えてくる。研究に対する姿勢を少しは理解できたと感じる。